

ほけんだより

特別号



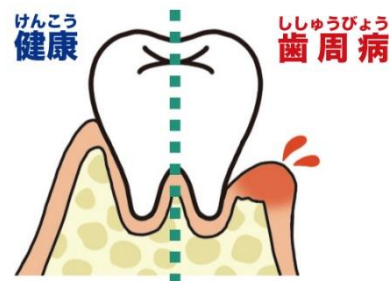
＜おうちの方と一緒に読みましょう＞

11/25に「学校歯科医による歯みがき指導」が行われました。本校学校歯科医の石塚先生（石塚歯科医院）を始め、歯科医さん・衛生士さんなどが講師をつとめてくださいました。

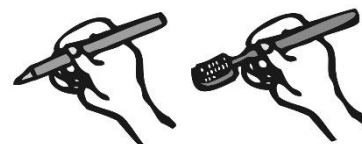
1人1人に赤の染色剤を塗ってくださり、みがき残しを調べました。児童からは「口の中が真っ赤！」「みがき残しがあった!!」などの声が聞かれました。鏡を使ってよく観察するとともに、歯科医さん達からその子に合ったアドバイスもいただきました。

講師の先生方より

- 「前歯」と「歯ぐき」にみがき残しが多い。
歯ぐきのみがき残しは歯周病につながる危険がある。
- 歯ブラシの毛先が開いている児童がいた。
歯みがきの効果を得られるよう、定期的に歯ブラシチェックをしてほしい。
- 歯みがきは擦過（こする）ことによって汚れを落とすことができる。
よく擦過できるよう「音を出す」ようにみがけると良い。
- 歯ブラシはえんぴつ持ち（ペングリップ）ができると良い。
えんぴつ持ちは手首を使ってみがくため、低学年には少し難しいかもしれない。少しずつ練習を。



もちは「えんぴつ＝歯ブラシ」



児童の感想より

- 時間をかけないとキレイにならないことを知った。
- 染め出でて、自分がどこをみがけていないかが分かった。
- 毎日、おうちの方の仕上げみがきもしたい。

